



インドネシア国 森林火災監視・即応システム普及促進事業 日本電気株式会社、住友林業株式会社

尼国の開発ニーズ

頻発する森林火災は国際問題にもなり、多方面に甚大な影響を及ぼしている。森林火災の早期発見、迅速な初期消火対応、適切な消火活動管理に課題がある

提案企業の技術・製品



尼国側に期待される成果

- 迅速な初動対応による火災の延焼の抑制
- 森林火災の間接被害の抑制
 - ・煙害(ヘイズ)由来の健康被害の抑制
 - ・ヘイズによる船舶、航空機の運航が遅延や停止することに伴う経済的損失の抑制
 - ・森林・泥炭地の火災によるCO2 排出抑制
- 火災対応要員の防消火対応能力向上 (キャパシティ・ビルディング)

普及促進事業の内容

- パランカラヤ大学の監視センター (CIMTROP)に本システムを設置し、地方防災局 (BPBD) とともに森林火災の監視に活用してもらい、フィードバックを得る
- 本システムを使った消火訓練及び成果報告会をCIMTROPとBPBDと実施する
- 上記の消火訓練と成果報告会に、尼国の政府関係者や民間事業者を招聘し、本システムを周知する

製品・技術名

森林火災監視・検出技術と
動態管理システム

事業のポイント

- ・本システムの実利用を通しユーザーの課題を洗い出す
- ・尼国の政府機関者や民間事業者を、本事業で実施する消火訓練や成果報告会に招聘して、本システムの有効性や実用性を広く周知する

日本企業側に期待される成果

現状

- 尼国が抱えている森林火災の課題解決に貢献できると考えているが、その有効性や実用性を尼国の政府関係者や民間事業者に知ってもらうことが難しく、ビジネス展開が困難

今後

- 本システムの有効性や実用性を知ってもらうことで、ビジネスの機会につなげる
- この機会に尼国の政府関係者と関係を構築し、案件形成の具体的検討に着手する